

令和6年10月17日
文部科学省総合教育政策局日本語教育課

「ICTを活用した「生活者としての外国人」のための 日本語学習サイト充実のための調査研究業務」等に係る 今後の方向性及び市場化テストの対象事業の開始時期について

1. 事業の概要

我が国の在留外国人を対象とした日本語学習サイト「つながるひろがる にほんごでの暮らし」について、多様化する在留外国人の状況に対応した言語追加等充実の方向性について調査研究を行うとともに、当該日本語学習サイトを運営するものである。なお、当該事業は単年度での調達を行っており、令和6年度事業（契約期間：令和6年4月1日～令和7年3月31日）においては、以下のような業務内容を実施している。

【主な業務内容】

- ・ 有識者会議・ワーキンググループの設置
- ・ 日本語学習コンテンツの充実に向けた方針の策定のための調査と当該方針の決定
- ・ 調査研究及びそれに基づく改修に付随する業務（日本語学習サイトの運営はここに含む）

2. 今回の経緯及び事業開始時期を延期する必要性

- 本事業が市場化テストの対象として選定された令和5年度中であっては、本事業は従来通り文部科学省一括計上予算として実施するものと考えられていたため、従来と同様の調達手続を踏んで進めていく想定であったところであり、市場化テストの趣旨を鑑み、令和7年度事業契約を対象に民間競争入札を実施するものとしていたところ。
- 一方、令和7年度予算の概算要求の検討段階において、本事業については事業の内容に鑑み、役務内容を2つに分割し、主にサイトの運用保守業務についてはデジタル庁予算に、それ以外の調査研究業務については文部科学省予算に計上することとし、現状、当該方針にて概算要求を行ったところである。
- この現状を踏まえ、当初、令和7年度事業契約を対象に令和6年度中に市場化テストを実施することとしていたところ、下記を理由に1年延期し、令和8年度事業契約を対象に令和7年度中に市場化テストを実施することとしたい。
 - ・ 上記のとおり、本業務は、令和6年度事業までは文部科学省一括計上であったところ、令和7年度より文部科学省計上（調査研究業務）とデジタル庁計上（運用保守業務）に分割することとなっており、予算建ての構造に変更が生じ、調達も2件に分けて実施することとなることが見込まれる。
 - ・ これにより、今後、令和6年12月下旬まで続く令和7年度概算要求に係る財務省及びデジタル庁との折衝の過程の中で、今後、仕様書に影響する内容（予算額はじめ役務の内容等）の変

更が生じる可能性が高く、実施要項案の作成をはじめ市場化テストの実施に係る対応が困難である。

- ・ 市場化テストの実実施趣旨を踏まえた取組を行うためにも、本事業の予算建て及び調達構造、役務内容等が確定した後の令和8年度事業契約について、市場化テストを実施することとした。

3. 今後のスケジュール

令和6年度は、令和7年度以降、計上予算を2分割することに係る財務省及びデジタル庁との各種整理を行うこととし、計上予算ごとの業務の内容等が整理された令和7年度に市場化テストを実施する。

| | 当初の予定 | 変更後 | |
|-------------|-------------------------|--|--------------------|
| | | ①調査研究 (文科省計上) | ②運用保守 (デジタル庁計上) |
| 令和6年10月 | 入札監理小委員会 | 予算折衝過程において、文科省計上とデジタル庁計上に分ける理屈付け 及び 各計数に関する調整等を行う。 ※ この段階で、仕様書にも影響する内容の変更が多数発生する可能性あり | |
| 令和6年10月～11月 | パブリックコメント | | |
| 令和6年12月 | 官民競争入札等監理委員会 | | |
| | 省内決裁手続等 | | |
| | 予算(案) 閣議決定 | | |
| | 入札公告 (～1月末) | 令和7年度事業の仕様書の確定、入札公告 | |
| 令和7年2月 | 開札、契約手続 | 開札、契約手続 | |
| 令和7年4月 | 市場化テスト事業開始 (令和7年度事業) | 契約開始 (令和7年度事業) | |
| 令和7年8月 | | 市場化テストの手続開始 | |
| 令和7年10月 | | 入札監理小委員会 | |
| 令和7年10月～11月 | | パブリックコメント | |
| 令和7年12月 | | 官民競争入札等監理委員会 | |
| | | 省内決裁手続等 | |
| | | 入札公告 (～1月末) | |
| 令和8年2月 | | 開札、契約手続 | |
| 令和8年4月 | | 市場化テスト事業開始 (令和8年度事業) | |



概要

**日本語教室がない空白地域に暮らし、日本語学習機会がない外国人が
独学で習得できる日本語学習コンテンツを開発・公開**
(開発・運営：文部科学省、委託：TOPPAN株式会社)



内容

- ・調査研究に基づく内容の検討追加 (R5：子育て・教育、R6：働く)
- ・生活場面の動画中心、日本語・外国語字幕表示、
表現・語彙、文型の確認、生活に必要な情報等を掲載した学習サイト
- ・活用方法等のセミナーの開催、広報活動



対応言語 全18言語

中国語(簡体字)、中国語(繁体字)、英語、フィリピン語、インドネシア語、
クメール(カンボジア)語、韓国語、モンゴル語、ミャンマー語、ネパール語、
ポルトガル語、ロシア語、スペイン語、タイ語、ウクライナ語、ベトナム語、日本語
フランス語【R5 公開】



使い方ガイドブック等の作成

活用促進のため、広報ツールを作成・公開

- ・使い方ガイドブック
- ・パンフレット、ポスター各種
- ・広報用動画 等



実績 (令和5年度)
210万アクセス



お知らせ：令和6年7月より、当サイトのドメインが～.bunka.go.jpから、～.mext.go.jpに変わりました。

このサイトでは、日本で生活する外国人の皆さんが、日本語でコミュニケーションをとり、生活できるようになりました。日本語を学習することができます。自分に合った日本語のレベルや、学習したいシーン、キーワードに応じて学習コンテンツを選択することができます。日本語を勉強し実際に使うことを通じて、社会とつながり、生活をひろげてみましょう。

自分に合ったレベルを探そう >

このサイトについて >

サイトの使い方 >

はじめに覚えよう！日本語の便利なフレーズ



ちょっと声をかけたいとき >



買い物をするとき >



注文するとき >